

ヒバクシャの思いを世界へ 世界ヒバクシャ展開催のご案内

NPO 法人世界ヒバクシャ展 設立の趣旨

20 世紀は工業技術の未曾有の発展をもたらした世紀でしたが、その一方で様々な大量無差別殺戮兵器を生み出しました。2 次にわたるあの悲惨な世界大戦以降も大量殺戮は様々な形で相次いでいます。

核兵器は、こうした愚かさの象徴にほかなりません。広島・長崎の被爆者、そして次々と明らかになる世界各地の核開発・核実験・核事故の被曝者は、この愚かな現実の最大の証人です。

21 世紀は、この忌まわしい現実をいかに克服し、豊かな人間性を回復させるかが問われている世紀です。多くの市民が核兵器を廃絶させ、核汚染を消滅させることこそ世界市民としての使命だと認識する新しい現実を創り出しましょう。

その一環として、すでに撮影され、これからも撮影される《ヒバクシャ》一核によって人間性までも破壊されながら、核の無い世界の実現を目指して強く生き続ける人々の体験と証言を、言語を超えた写真という媒体で展示・紹介することにより、後に続く世代に残し、反響が反響を生むダイナミックな運動を展開することで、人類の希望を 21 世紀に見出したい。

こうした認識に基づき、私たちはこの NPO の結成を決意しました。

世界ヒバクシャ展 開催要項

この写真展を見ると、世界の「核」被害の実情を知るだけでなく、「自分たちは核に対して何ができるか」「何かしたい」という気持ちが生まれます。

写真家たちの撮ったこの写真展を、その国の誰でもわかる言葉に翻訳し、世界中の人々に届けたい。100 カ国で展示し続けることができれば、世界の人々の「核」に対する見方が変わることができると確信しています。

ぜひ写真展を開催してください。また海外に写真展を送り出す募金へのご協力をお願いします。

■出展作品の内容

6 人の写真家の主な作品は次の通りです。

伊藤孝司：広島、長崎で被爆した韓国、朝鮮人たち。韓国、北朝鮮、日本で撮影。日本軍「慰安婦」や朝鮮人・台湾人の元「日本兵」などの、アジア太平洋戦争で傷ついたアジアの人々取材している。

桐生広人：ロンゲラップの核実験による被曝者など。核実験周辺の核被害を撮り、1993 年には、ロシアが放射性廃棄物を日本海に投棄する現場を、グリーンピースの船上から世界に発信。

豊崎博光：ネバダ、オーストラリア等、核実験の風下の人々など。豊崎はウランの採掘、核兵器の実験場、原子力発電所の事故などで、核に汚染された人間や大地、動植物を撮っている。「アトミック・エイジ」が第一回平和・協同ジャーナリスト基金賞受賞。

本橋成一：チェルノブイリ原発事故の風下の人々。「ナージャの村」は、1999 年にドイツで行われた環境映像祭の「エコメディア」部門でグランプリを受賞。「アレクセイと泉」は、2002 年ベルリン映画祭で「国際シネクラブ賞」を受賞。

森下一徹：広島、長崎の原爆被爆者など、長年被爆者を撮り続けて、自分自身の生きる原点になった。1981 年、ソ連邦 60 周年記念、国際記録芸術写真コンテスト「人間と平和」で「被爆者」がグランプリを受賞。

森住 卓：セミパラチンスク、インド鉱山、イラクの劣化ウラン弾被害など。軍事問題や環境問題に取り組む中で、最大の環境破壊の元となる核被害を目撃し、世界の核被害に苦しむ人々を撮り続けている。

■パネルについて

写真の枚数	120点	パネルのサイズ	A2
全体趣旨	1点		(横 420mm×縦 594mm)
再出発に当たって	1点		
各写真家のメッセージ	6点		
計	128点		

- ・キャプション、タイトルはパネルに添付されています。展示は、指定通りの順番でお願いします。パネルの間隔は、60センチくらい空けられると最適です。
- ・会場が小さい場合には、半分の60枚、さらに少ない30枚のセットも用意してあります。また、会期中に作品を入れ替えることも可能です。
- ・屋外展示などのためにラミネート加工の写真も用意しています。サイズは、A3 ノビ(330mm×480mm)で、A4のキャプションがついています。写真は縦長のものと横長のものが交ざっています。お貸しできる枚数は、50枚程度です。
- ・写真の取り扱いには、十分注意してください。写真を破損した場合は、作り直しの費用として、パネルは写真1枚につき2万円、ラミネート加工写真1枚につき1万円を賠償していただきます。
- ・写真の著作権を守るためにも写真パネルの管理には十分注意してください。写真パネルを紛失した場合には、1点10万円を賠償していただきます。

■写真展申し込み

会場、日程が決まったら、別紙の申し込み用紙に記入して、NPO 法人世界ヒバクシャ展宛てに、メール、郵送、FAXのいずれかでお送りください。期日が重なった場合には、調整させていただきます。

■会場

1. 写真展会場は、ギャラリーが最善ですが、会議室や公民館などのロビー、広い廊下などでも展示できます。そのとき、展示ボードがあれば最適です。
2. ギャラリー以外の場所で展示する場合には、次の点に注意してください。
 - A 明るい照明があるか。暗くても壁面にライトが当てられれば大丈夫です。
 - B 壁面に画鋲が打てるかどうか。
 - C 管理人の常駐できるところかどうか。(人の目の届くところ)
 - D 屋外での展示はご遠慮ください。ラミネート写真は、屋外のテントの中などでの展示も可能です。
 - E 直射日光の当たるところには展示しないでください。

※来場者による会場風景の撮影は問題ありませんが、著作権保護のため、会場での作品そのものの撮影は禁止してください。

■写真パネルの発送

パネルの発送については、往復の送料の負担をお願いします。距離によって料金が違います。原則としてこちらからは着払いで発送します。配達指定日、送り先を忘れずに明記してください。

■写真パネルの返送

写真展の終了後、翌日には届いたときの状態に梱包し、返送してください。

期日がない場合には、次の展示会場に送っていただく場合があります。その際には、期日を守って送ってください。

■写真パネルの国内向け貸出料金(企画料・手数料込み)の目安

	1～3日	1週間	10日間	2週間	1ヵ月
作品120点	20万円	31万円	38万円	46万円	71万円
作品60点	12.5万円	19.5万円	24万円	29万円	44.5万円
作品30点	7万円	10.8万円	13万円	16万円	25万円

※公共施設の場合の目安です。そのほかは、ケースバイケースです。料金の半額は、写真展示の10日前までにお支払いください。

※バウチ写真の貸出料金はこの料金の7掛けです。

■費用について

この写真展は、国内だけでなく、アジアをはじめとする世界各国で開催していきます。そして、海外で活動に取り組む人々に、写真セットを順次届けていきます。この写真展を全国津々浦々で開催することが、そのための基盤となります。ぜひ、しっかりした予算を組んで、準備を整えて写真展を開催してください。

写真展を始める皆さまへ

- 写真展の開催地では、関心を持つ芸術家とのコラボイベントをぜひ開いてください。写真、絵画、彫刻、音楽、映画、演劇、詩の朗読などです。
- 写真展を見た芸術家の創造力を生かして、ポスター、パンフレット、ワッペンなどデザインしていただき、感想文を書いた人、募金をした人に差し上げたらいかがでしょうか。
- この写真展は、見た人に、感想文を書いたとか、募金をしたとか、自分たちも参加することができたと感じてもらうことが大切です。その行為が核のない世界を実現させる意思を継続させることになるのです。
- 感想文ノートを写真と一緒に送りますので、会場に置き、見た人に感想を書いてもらって、終了後に写真とともに送り返してください。その際、入場者数や入場者の傾向なども教えてください。
- 写真展の開催にあたっては、地域の小中学校などの学校にも声をかけてください。
- ポスターやリーフレットなどの費用は自治体や企業の協力を得ましょう。
- 常に募金活動を行ってください。募金が集まれば、新しい国にパネルを発送できます。被爆者を招待し、話を聞くこともできます。
- 他国の人たちで、この行動とともに参加できる確かな人を紹介してください。
- 責任者が交代する場合は、引き継ぎを確かにし、代わったことをお知らせください。
- 写真は、核兵器がなくなる日まで展示し続けるので、大切に扱ってください。写真が破損した場合は差し替えますので、お知らせください。
- 展示していて気のついたことがあったら教えてください。このプロジェクトをよりよいものにするためです。
- 非核自治体宣言をしている自治体に、積極的に NPO 世界ヒバクシャ展の開催を勧めてください。

一日でも早く、100 カ国で展示できるよう、みんなで創意工夫を出し合いましょう。

世界ヒバクシャ展の活動の詳細は下記 WEB サイトをご覧ください。

<http://www.no-more-hibakusha.net/>

NPO 法人世界ヒバクシャ展

〒152-0031 東京都目黒区中根1-6-7 都立大マンション603
e-mail hibakushaten@gmail.com TEL 080-3558-3369

世界ヒバクシャ展写真貸出申込書

主催団体			
担当責任者			
住 所	〒		
連絡先	TEL	携帯	
	FAX	メール	
イベントの名称			
開催会場名			
開催日			
パネル搬入先			
搬入指定日	年	月	日 曜日 AM・PM
種類	パネル写真 (A2) パウチ写真 (A3 ノビ)		
写真パネル枚数	120 枚	60 枚	30 枚 その他 (枚)
会場での出版物販売 (注1)	できる	できない	
会場での募金	できる	できない	
講 演 (注2)	要	不要	

注1 写真家の写真作品集などの販売ができるかどうかです。

注2 写真家、あるいは世界ヒバクシャ展代表 (森下美歩) による講演が可能です。

※申込書はメールまたは郵送でお送りください。

※企画書、チラシなど写真展示の狙いの分かる資料なども併せてお送りください。

写真を破損した場合は、パネルは写真1点につき2万円、パウチは写真1点につき1万円を賠償します。紛失の場合には、いずれも1点につき10万円を賠償します。

署名

印